



2023年3月16日

報道関係者各位

慶應義塾

慶應義塾ミュージアム・コモنز 展覧会開催（5/15～7/15） 「さすが！北斎、やるな！国芳」－浮世絵のマテリアリティ

経済学者でかつて慶應義塾の塾長（代理）を務めた高橋誠一郎の遺贈コレクション、「高橋誠一郎 浮世絵コレクション」（<https://dcollections.lib.keio.ac.jp/ja/ukiyo/explanation>）を紹介する展覧会を開催いたします。本学主催での展示は実に14年ぶりとなります。

今回はコレクションの公開普及事業の一環として、膨大な浮世絵版画収集品のなかから、葛飾北斎と歌川国芳という、現代人にも馴染みの深い幕末期の二人の人気絵師を取り上げます。

なおこれにあわせて、両絵師とその一門の筆に成る未公開の下絵・画稿も借用し、商品として完成度の高い色鮮やかな浮世絵版画の名品とともに、生き生きとした筆遣いを伝える絵師たち渾身の自筆デッサン類の展示を通じて、江戸浮世絵のマテリアリティに迫ります。

1. 基本情報

会 期：前期 5月15日（月）～6月13日（火）／後期 6月15日（木）～7月15日（土）（土日休館）
特別開館 5月20日（土）、6月17日（土）、7月15日（土）
（臨時休館 5月22日（月）、6月14日（水）、7月3日（月））

会 場：慶應義塾ミュージアム・コモنز（三田キャンパス東別館）

開館時間：11:00～18:00

入 場：無料

※前期と後期の間に、一部作品の展示替えを行います。

※詳細は KeMCo ウェブサイトをご確認ください。<https://kemco.keio.ac.jp/>

2. 展覧会の概要

北斎と国芳。教科書にもその名が掲載される二人の浮世絵師だが、19世紀、最幕末の江戸に生きた彼らには確かな接点があった。

北斎は、勝川春章率いる勝川派で修業したのちに独立し、多様な絵画様式を旺盛に吸収することで、のちに葛飾派（北斎派）と呼ばれる一大絵師集団を作り上げた。他方の国芳は、北斎の師春章と同時代のライバル絵師歌川豊春の孫弟子で、その師豊国や同じ派閥の広重はいずれも、北斎の好敵手であった。ところが所伝によれば、国芳本人は先達として北斎を慕って近づいたともされ、逆に北斎が彼の師系への配慮から親密な関係を拒んだとも伝えるほどである。

本展覧会は、慶應義塾が所蔵する高橋誠一郎浮世絵コレクションのなかから、互いに他とは一線を画するエキセントリックな表現で人気を博した二人の浮世絵師、北斎と国芳の魅力を確認する機会としたい。あわせて、展覧会で初紹介される新出の絵師たちによる下絵群からは、彼らの生き生きとした筆さばきを十分にご堪能いただけるものと思われる。

「さすが！北斎」「やるな！国芳」とは、今回ご覧に入れる手練れの絵師たちの作品をみて、思わず漏れてしまう自然な声ではないだろうか。理屈抜きで、まずはお楽しみあれ！

3. 主な出品作品

1. 葛飾北斎ほか(画)、『柳の糸』、寛政9年(1797)
2. 葛飾北斎(画)、「富嶽三十六景 凱風快晴」、天保1~5年頃(1830-34)、大判錦絵
3. 歌川国芳(画)、「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」、天保14年頃(1843)、大判錦絵三枚続
4. 歌川国芳(画)、「安達原一ツ家之図」、安政3年(1856)、大判錦絵二枚続
5. 葛飾北斎(筆)、扇面「菊に茄子図」、紙本着色
6. 葛飾北斎派下絵より、「休息する旅客」、紙本墨画
7. 歌川国芳派下絵より、「流行ほふつきの八そふとび」、紙本墨画

(1-4.慶應義塾 高橋誠一郎浮世絵コレクション、5-7.個人蔵)

(1,5-7.全期間展示、3.前期展示、2,4.後期展示)



1



2



3



4



5



6



7

展覧会構成

- セクション1 葛飾北斎の風景
- セクション2 歌川国芳の人々
- セクション3 北斎・国芳腕比べ
- セクション4 絵師の筆ぢから

4. 関連プログラム

「ギャラリートーク」

当館学芸員によるギャラリートークを行います。

どなたでもご参加いただけます（入場無料、事前予約制）

会場：慶應義塾ミュージアム・コモンズ（三田キャンパス東別館）

5月29日（月）14時～14時30分

6月9日（金）17時～17時30分

6月19日（月）17時～17時30分

7月7日（金）14時～14時30分

※イベントの詳細は KeMCo ウェブサイトをご確認ください。 <https://kemco.keio.ac.jp/>

他にも展覧会に関連したプログラムを各種予定しています。詳細はウェブサイトをご確認ください。

5. 連携企画

「アート・アーカイヴ資料展 XXV：田邊コレクション／『役者』関係資料展」（仮）
会 期：2023年5月22日（月）～7月28日（金）
会 場：慶應義塾大学アート・センター

6. 会場案内

会 場：慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo)
住 所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾大学三田キャンパス東別館
交通アクセス：田町駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分
三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分
赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分



ミュージアム・コモンズ
(三田キャンパス東別館) 外観

7. 主催・運営

主催：慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo)、慶應義塾大学三田メディア・センター

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。
※本リリースは文部科学記者会、各社社会部・教育部、文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>